

平成 26 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：平成 26 年 5 月 9 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：日立システムズホール仙台

（仙台市青年文化センター） 研修室 1

仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(2) 報告

- ①平成 25 年度活動報告
- ②平成 25 年度会計報告
- ③監査報告
- ④平成 26 年度活動計画（案）
- ⑤平成 26 年度会計予算（案）
- ⑥規約改正
- ⑦その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時

タイトル：微古生物学の研究からわかった層状チャートの斜面崩壊のクセ

講師：鈴木紀毅氏（東北大学院理学研究科）

3. 意見交換会 17 時 10 分～19 時 10 分

場所： レストランけやき

会費： 4,000 円（予定）

1. 平成 25 年度活動報告

①年次大会 参加者：年次大会 35 名（委任状 22 名）、意見交換会 11 名

日時：平成 25 年 5 月 16 日(木)

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室

年次大会 16 時～17 時

意見交換会 だんまや水産仙台駅前店 17 時 30 分～19 時 30 分

会費 4,000 円

②平成 25 年度研修会：参加者 24 名、意見交換会 14 名

テーマ：農地機能維持と農作物のエネルギー化による
復興支援の試みについて

共催：技術情報部会、農業部会

日時：平成 25 年 7 月 26 日（金）

場所：株式会社ユアテック会議室 3 階 B 会議室

仙台市宮城野区榴岡4丁目1番1号

講師：佐藤律子（さとうりつこ）氏

（日本工営株式会社、技術士 建設部門、環境部門）

会費：会員・非会員 1,000 円（資料代）

意見交換会 4,000 円

③平成 25 年度第 2 回研修会；参加者 19 名、意見交換会 11 名

テーマ：住民参加と順応的復興をめぐって

～地域コミュニティと環境・防災～

日時：平成 25 年 11 月 7 日（木） 15：00～17：00

場所：株式会社ユアテック 3 階 B 会議室

仙台市宮城野区榴岡4丁目1番1号

講師：千葉 一氏 東北学院大学 講師

参加費：会員・非会員・一般 1000 円

意見交換会：4000 円

④役員会 平成 24 年 4 月 19 日(金)、5 月 16 日（木）、6 月 14 日（金）、7 月 26 日（金）、8 月 9 日(金)、9 月 13 日（金）、10 月 11 日（金）、11 月 7 日(木)、12 月 13 日（金）、2 月 7 日（金）（計 10 回）

（太字は技術サロン開催日）

⑤東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

東北福祉大学ボランティア支援室主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋幹事
特別講義 「減災論Ⅰ」 守屋幹事

⑥ 技術サロン：5回開催（金曜日夕方開催）

- ・第1回 平成25年6月14日（金）18時00分～20時30分 12名参加
 - 1) ダムサイトにおける岩盤すべりの事例
初貝隆行氏 （有限会社ジオプランニング）
 - 2) 宮城県南部で発生した地すべり
～AHP法による地すべり危険度評価事例～
池田浩二氏 （株式会社テクノ長谷）
 - 3) 地震で被災した盛土と擁壁の変状調査
本田仁宏 （株式会社テクノ長谷）

- ・第2回 平成25年8月9日（金）18時00分～20時30分 13名参加
 - 1) 北米西部グランドサークルの地形・地質とその特異な地形について
～ブライスカニオンとデリケートアーチズの形成を考える～
中里俊行氏 （有限会社ジオテクノ中里産業）
 - 2) 砂防ダムの堆砂と変状 ～既存砂防ダムの点検調査から～
今野隆彦氏 （有限会社ジオプランニング）

- ・第3回 平成25年10月11日（金）18時00分～20時30分 12名参加
 - 1) 珪石（層状チャート）分布地域の斜面滑落は予測できるか？
～微化石研究から見つかる“見えない”弱面層準～
鈴木紀毅氏 （東北大学大学院理学研究科）
 - 2) 科学・技術の地産地消を考える
大草芳江氏 （NPO法人 natural science）

- ・第4回 平成25年12月13日（金）18時00分～20時30分 9名参加
 - 1) 福島県富岡町の除染状況
中村光作氏 （株式会社新和調査設計）
 - 2) 青森県内の地すべりの発生機構と形態的特徴について
山本祐介氏 （株式会社復建技術コンサルタント）

- ・第5回 平成26年2月7日（金）18時00分～20時30分 9名参加
 - 1) 過ぎたことから次を学ぶ～自然現象の遺産～
守屋資郎氏 （株式会社ATS）

2. 平成 25 年度会計報告

応用理学部会 平成25年度 会計決算(案)

	決 算	H25年度予算	対 比
総収入	317,454	291,454	26,000
総支出	242,137	259,700	△ 17,563
繰越金	75,317	31,754	43,563

【収入の部】

科 目	決 算	H25年度予算	対 比	摘 要	
H24年度繰越金	31,451	31,451	0		
本部交付金	90,000	90,000	0		
小 計	121,451	121,451	0		
事業収入	年次大会	0	0	0	
	見学会	0	60,000	△ 60,000	研修会2へ変更
	技術サロン	53,000	40,000	13,000	5回開催、会費1,000円、延53名
	研 修 会	143,000	30,000	113,000	第1回24名、第2回19名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
パンフレット頒布金	0	40,000	△ 40,000		
雑収入	雑 収 入	3	3	0	銀行利息
小 計	196,003	170,003	26,000		
総収入	317,454	291,454	26,000		

【支出の部】

科 目	決 算	H25年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	14,360	16,180	△ 1,820	往復ハガキ、会場費
	見学会	0	100,000	△ 100,000	
	技術サロン	50,658	40,000	10,658	5回開催、会場費(役員会も含む)ほか
	研 修 会	148,274	65,000	83,274	謝礼、会場費ほか
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
小 計	213,292	226,180	△ 12,888		
管理費	会 議 費	1,400	7,200	△ 5,800	役員会会場費
	通 信 費	25,515	25,320	195	HP管理費
	事 務 雑 費	1,930	1,000	930	振込料、駐車料金
	予 備 費	0	0	0	
小 計	28,845	33,520	△ 4,675		
総支出	242,137	259,700	△ 17,563		

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示


3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成25年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成26年4月14日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 中村光作 

4 . 平成 26 年度 活動計画 (案)

① 平成 26 年度 年次大会および特別講演

日時 : 平成 26 年 5 月 9 日 (金) 14 時~15 時

場所 : 日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)

研修室 1

年次大会 14 時~15 時

特別講演 15 時~17 時

タイトル : 微古生物学の研究からわかった層状チャートの斜面崩壊のクセ

講師 : 鈴木紀毅氏 (東北大学院理学研究科)

意見交換会

時間 : 17 時 10 分~19 時 10 分

会場 : レストランけやき

会費 4,000 円

② 平成 26 年度現地見学会

テーマ:斜面崩壊とチャート

日時 : 平成 26 年 7 月 19 日 (土) ~ 21 日 (月、振休)

宮古方面 ; 2 泊 3 日で計画

③ 平成 26 年度研修会 : 平成 26 年 9 月 26 日 (金) 15 : 30~16 : 30

テーマ : 震災廃棄物の環境並びに資源評価について

講師 : 蒔田律郎氏 (蒔田技術士事務所、技術士 (金属、化学、建設、総合技術監理))

④ 役員会

平成 26 年 4 月 18 日 (金)、5 月 9 日 (金)、**6 月 13 日 (金)**、7 月 11 日 (金)

8 月 8 日 (金)、9 月 12 日 (金)、**10 月 10 日 (金)**、11 月 7 日 (金)、**12**

月 12 日 (金)、2 月 13 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

⑥東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

ボランティア支援室主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋氏

⑦ 技術サロン：4回開催・・・市民センター他の公共施設

6月～12月隔月第2金曜日；18：00～20：30

会費 1000円/回

6/13, 8/8, 10/10, 12/12開催予定

5. 平成26年度 会計予算（案）

応用理学部会 平成26年度 会計予算（案）

	H26年度予算	H25年度決算	対比
総収入	402,320	317,454	84,866
総支出	329,300	242,137	87,163
繰越金	73,020	75,317	△ 2,297

【収入の部】

科目	H26年度予算	H25年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	H25年度繰越金	75,317	31,451	43,866	
本部交付金	本部交付金	90,000	90,000	0	
	小計	165,317	121,451	43,866	
事業収入	年次大会	44,000	0	44,000	交流会費11名
	見学会	75,000	0	75,000	現地集合・解散
	技術サロン	40,000	53,000	△ 13,000	4回開催、会費1000円
	研修会	78,000	143,000	△ 65,000	参加費30名、交換会12名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金		0	0	
雑収入	雑収入	3	3	0	
	小計	237,003	196,003	41,000	
総収入		402,320	317,454	84,866	

【支出の部】

科目	H26年度予算	H25年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	80,000	14,360	65,640	謝礼、案内はがきほか
	見学会	110,000	0	110,000	謝礼、バス代ほか
	技術サロン	40,000	50,658	△ 10,658	4回開催、会場費ほか
	研修会	60,000	148,274	△ 88,274	謝礼、交流会会費ほか
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小計	295,000	213,292	81,708	
管理費	会議費	6,000	1,400	4,600	役員会会場費
	通信費	26,300	25,515	785	HP管理費
	事務雑費	2,000	1,930	70	
	予備費	0	0	0	
	小計	34,300	28,845	5,455	
総支出		329,300	242,137	87,163	

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H26 予算) - (H25 決算) マイナスは△で表示

6. 規約改正

公益社団法人化に伴い、平成 24 年度までの「総会」が「年次大会」となったことを受けて、以下の 4 箇所について改正する提案を行う。

1) 規約第 8 条第 1 項下線部を追加

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。

2) 規約第 8 条第 5 項削除

3) 規約第 9 条第 1 項下線部を変更

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。 (従来は議決)

4) 規約第 9 条第 1 項の②下線部を変更

- ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項 (従来は決定)

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約 (案)

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」)と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第 6 条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べるができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その任務を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べるができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を招集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。
5. 定期年次大会及び臨時大会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任さ

れた者が会議を推進することができる。

3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。